



「働く」とは・・・

充実したナイストライ(職場体験)学習

「働く」の語源の一つに「傍(はた)を楽にする」があります。「はた」というのは「他者(周りの人)」のことです。他者の負担をできるだけ軽くする。楽にすることが「働く」の意味だったと聞いたことがあります。

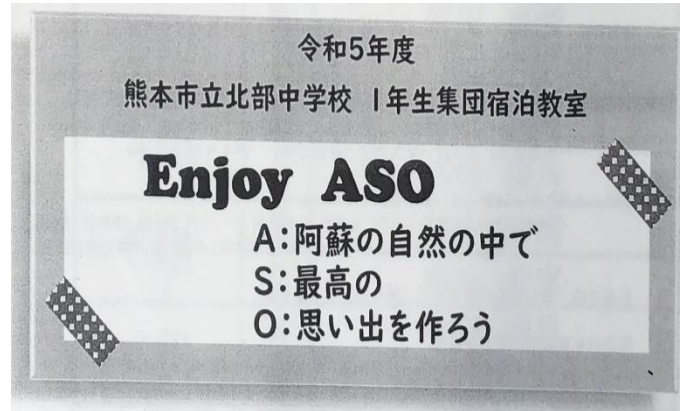
さて、2年生は9月12(火)～14日(木)の間、ナイストライ(職場体験)学習を行いました。

まだコロナウイルス・インフルエンザ感染症等が心配な状況は続いています。保護者・地域の皆様のご理解ご協力より、約70の事業所で充実した活動ができたことに感謝申し上げます。

熊本市は、ナイストライ学習を「持続可能な社会の実現に貢献する力を育む教育の推進」として位置付けています。

心身ともに大きく成長する中学生の時期に、地域の中で職場体験を通して、勤労観・職業観や感謝する心などの豊かな心を育み、主体的・実践的な態度を培い、“生きる力”を育成すること。地域に生活する人々の生き方に学び、学校・家庭・地域社会がそれぞれの役割と責任を自覚し、三者が連携して次代を担う子どもを育成するという気運を醸成することはとても大事なことで、市内全ての中学校で行われています。

北部中2年生のみなさんには、ナイストライ事業を通しての学びを学校・家庭・地域での生活にいかし、立派な最上級生に成長してくれることを期待しています。



1年生のみなさんは、阿蘇の自然の中で仲間と生活を共にし、お互いを支え合い、助け合いながら、自然・仲間から学ぶことを目的に集団宿泊教室を国立阿蘇青少年の家で9月17日(金)～18日(土)の1泊2日で実施します。

1日目は入所式・オリエンテーション後の昼から研修①(仙酔峡のハイキング、夜は研修②(キャンドルのつどい)を行います。

2日目は研修③(オリエンテーリング【谷越えコース】)を行い、北部中に戻ってきます。

12日(火)に実行委員の富田虎愛さん(1-3)、清田藍月さん(1-4)、上田始芽さん(1-7)が校長室を訪ねてくれ、全員が楽しく充実した研修になるように頑張りますと決意を話してくれました。

集団宿泊教室でしっかりと「規律」「協同」「友愛」「奉仕」の心を学んでください。



生徒会役員改選



9月11日(月)より生徒会役員改選に関する選挙運動がスタートしました。とても活気ある挨拶が学校中に溢れていました。生徒会規約に基づき会長1人、副会長2人、書記2人の役員改選です。

今回は会長3人、副会長6人(女子1人・男子5人)、書記10人(女子6人・男子4人)の立候補がありました。9月22日(金)の立ち合い演説会では、北部中をより良くするための演説を聞けることが楽しみです。